

国際シンポジウム2025

広島・長崎への原爆投下80年： 核兵器と被爆の記録と記憶 —歴史、映画、文学、教育、国際関係

2025年 **12月13日(土)**
13:00~17:30

会 場：日本大学国際関係学部15号館1512教室
静岡県三島市文教町2-31-145
対 象：本学部学生・教職員・一般市民
使用言語：日本語・英語
(英語は日本語の要約翻訳あり)

プログラム

- | | | |
|-------------|-------------|--|
| 13:00~13:10 | 挨拶 | 渡邊武一郎(日本大学国際関係学部長) |
| | 趣旨説明 | 松本 佐保(日本大学国際関係学部 教授) |
| 13:10~14:10 | 基調講演1 | M.G.シェフタル (Sheftall, George Mordeca) (静岡大学 教授) |
| | 演 題 | 「広島と長崎の被爆の記録：歴史的文脈とその継承」 |
| | 基調講演2 | 小川 公代(上智大学 教授) |
| | 演 題 | 「カズオ・イシグロ原作映画『遠い山なみの光』：文学的観点からの原爆投下の影響」 |
| 14:10~14:20 | 休 憩 | |
| 14:20~15:50 | 事例報告 | 広島と長崎の記憶、次世代にどう引き継ぐか 教育と国際問題 |
| | | ・ラン・ツヴァイゲンバーグ (Ran Zwingenberg) (ペンシルベニア州立大学 教授) |
| | | 「 広島の被爆とアウシュビッツのホロコーストの記憶 」 |
| | | ・穴戸 学 (日本大学国際関係学部 国際関係研究所長) |
| | | 「 ダークツーリズムと教育旅行—長崎・広島を事例に— 」 |
| | | ・永井雄一郎 (日本大学国際関係学部 准教授) |
| | | 「 広島と長崎への原爆投下から80年の国際情勢：グローバルな核リスクの現在 」 |
| 15:50~16:00 | 休 憩 | |
| 16:00~17:20 | パネルディスカッション | |
| | モデレーター： | 松本 佐保 |
| | | M.G.シェフタル (Sheftall, George Mordeca) |
| | | 小川 公代 |
| | | ラン・ツヴァイゲンバーグ (Ran Zwingenberg) |
| | | 穴戸 学 |
| | | 永井雄一郎 |
| 17:20~17:30 | 閉 会 | 穴戸 学 (日本大学国際関係学部 国際関係研究所長) |

参加無料

どなたでも参加できます。
お申し込みは二次元コード、もしくは
ホームページから申込書をダウンロードし、メールまたはFAXでお送りください。
※ 事前申込み制 (先着順)



広島 原爆死没者慰霊碑



長崎 折鶴の塔

主催：日本大学国際関係学部国際関係研究所

お問い合わせ先

日本大学国際関係学部(研究事務課) ☎411-8555 静岡県三島市文教町2-31-145

TEL: 055-980-0808 FAX: 055-980-0879

URL: <https://www.ir.nihon-u.ac.jp/research/laboratory/> Eメール: ir-kouza3@nihon-u.ac.jp

